

■ 4 研究に関する事項

第4次長期計画最終年度となる2009年度は、ポスト第4次長期計画に向け、4長期におけるこれまでの研究高度化推進事業や学内助成制度の実績と経過の反省を踏まえつつ、研究関連の事業を推進していく。

ポスト第4次長期計画に向けては、これまで4次長期計画において策定してきた研究計画を基本とし、政府の第三次科学技術基本計画や研究を取り巻く諸情勢を視野に入れながら、さらなる研究実績の向上や研究環境の改善、また、研究支援体制の強化を図りつつ、21世紀に龍谷大学が世界に通用する先進的で卓越した教育研究機関として広く認知されるべく、本学における「研究支援に関する取り組み」、「研究高度化推進事業の展開」、「COEに関する取り組み」、「学外資金による研究の推進」、「付置研究所の取り組み」を事業計画の柱として積極的な事業展開を行っていく。

1 研究支援に関する取り組み

● 研究支援制度

2007年度から導入した研究員制度及び2008年度から導入した個人研究費等の新たな支援制度について検証を行いつつ、研究環境の向上を目指した研究支援を実施していく。

2 研究高度化推進事業の展開

● 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の展開

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業として「アフラシア平和開発研究センターAFC(2005年度採択)」「情報通信システム研究センターHRC(2006年度採択)」「革新的材料・プロセス研究センターHRC(2006年度採択)」「人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター(2007継続採択)」「矯正・保護研究センターAFC(2007年継続採択)」を引き続き実施する。

● 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の展開

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として「地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチセンター(2008年度採択)」を引き続き推進する。また、新規研究プロジェクトとして「新技術開発による文化財保存・修復科学研究」(代表：岡田至弘教授)及び「里山の現代的利用に関する総合研究」(代表：宮浦富保教授)を3ヶ年の大学の特色を活かした研究として申請し、高度化事業の積極的な展開を図る。

● その他の高度化推進事業の展開

大学が独自に実施する高度化推進事業として、最終年度を迎える「アフガニスタン新発見仏教遺跡学術調査」を実施し、370周年記念事業におけるシンポジウムにおいて5年間の研究総括を行い、併せて今後の展開についても検討を行う。また、新規事業として今後の大学の研究展開を見据え、2008年度グローバルCOEに申請し不採択となった研究プログラムにも計画されていた『混一疆理歴代国都之

図』(こんいつきょうりれきだいこくとのず)研究プロジェクト(370周年記念事業・福武財団研究助成プロジェクト)並びに、大学間共同利用法人人間文化研究機構による地域研究推進事業に採択された「現代インド地域研究」(中核研究拠点：京都大学)において、本学が連携研究拠点としての取り組む「現代に生きるインド思想の伝統」を高度化推進事業に位置づけ、新たな研究を展開していく。

● 研究評価の実施

昨年、最終年度を迎えた「古典籍デジタルアーカイブセンター」を対象に外部評価を実施し、評価結果をもとに同研究プロジェクトの今後の研究活動への有効的活用を図る。

3 COEに関する取り組み

● COEに関する今後の取り組み

2008年度、本学では文部科学省グローバルCOEプログラムに「仏教文化に関する世界的教育研究拠点の形成」(拠点リーダー入澤崇教授)を申請したが残念ながら不採択であった。これまでの申請結果及び今後の申請条件等を踏まえ、総合的に判断した結果、2009年度の申請については見合わせる。なお、グローバルCOEプログラムが提唱する世界的な教育研究拠点の形成という理念は本学の目指す大学像と同じくするものであり、その積極的な推進の必要性に鑑み、実績不足等の指摘された課題の改善を最優先とし、今後COEプログラム等の競争的資金事業に採択可能な研究実績の蓄積に努める。具体的対応として2008年度申請したCOEの研究プログラムにも計画されていた『混一疆理歴代国都之図』研究プロジェクトを本学の高度化推進事業の大学が特に必要とする研究プロジェクトとして位置づけ実施していく。

4 学外資金による研究の推進

● 外部資金獲得

出来る限り学費に依存することなく研究の財源を確保していくために、これまで以上に科学研究費補助金等の公的補助金及び企業等からの受託研究費等の外部資金獲得に積極的に取り組んでいく。

● 科学研究費補助金の獲得

科学研究費補助金は毎年度国家予算額が増額していることに鑑み申請件数、採択件数ともに増加させることに努め、2008年度に引き続き補助金額1億円以上の獲得を目指す。

● 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業への申請

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業については申請計画を策定し、一層の高額研究費の獲得に努める。

● 受託研究費及び奨学寄付金等の獲得

受託研究費及び奨学寄付金等については、RECとの連携を強め、本学の知的資産や研究シーズの有効活用を図ることにより、昨年以上の資金獲得を目指す。

5 各研究所の取り組み

- 付置研究所の取り組み

2009年度は、「研究所の在り方」（2007年度答申）の答申に基づき、4つの付置研究所の有する諸課題を整理しつつ、

各々の研究所では「研究所の独自性」「研究課題の多様化」に考慮した本学の研究基盤としての機能を果たしうる新しい研究所の実現に向けて取り組んでいく。